

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：特別支援教育課

担当名：インクルーシブ教育推進担当

内線：6883

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B40	特別支援学校の新たな学び推進プロジェクト			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	特別支援教育推進費		
事業期間	平成30年度～	根拠法令	学校教育法第72条				宣言項目	06	次代を担う人財育成	
							分野施策	030622	質の高い学校教育の推進	
1 事業概要 障害特性に応じたICTの活用により、障害のある児童生徒の課題や困難を改善・克服するとともに、特別支援学校におけるアクティブ・ラーニングの実践研究を通して、児童生徒一人一人の可能性を高め、卒業後を見据えたキャリア教育の充実を図り、自立と社会参加に向けた新たな学びの方向性を確立する。 (1) 特別支援学校におけるアクティブ・ラーニングの推進 節約による減 △200千円 (2) タブレット端末等を活用した学習環境の整備 節約による減 △150千円 (3) 病弱教育におけるICTの活用 講師派遣回数減等による減 △474千円				5 事業説明 (1) 事業説明 ア 特別支援学校におけるアクティブ・ラーニングの推進 1,380千円 イ タブレット端末等を活用した学習環境の整備 1,860千円 ウ 病弱教育におけるICTの活用 1,800千円 (2) 事業計画 ア 特別支援学校におけるアクティブ・ラーニングの推進 (ア) 特別支援学校でアクティブ・ラーニングの実践研究を実施 (イ) 実践報告会、公開授業等による研究成果の普及、指導内容や教材の共有化 イ タブレット端末等を活用した学習環境の整備 (ア) 県立特別支援学校にタブレット端末等を整備 (イ) アクティブ・ラーニングの実践研究と併せて、特別支援教育におけるICT活用の効果検証 ウ 病弱教育におけるICTの活用 (ア) 病室と教室間での双方向通信による学習活動やVR（仮想現実）による体験学習等を実施 (イ) 病弱教育におけるICT活用の効果検証 (3) 事業効果 ア 特別支援学校における主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の在り方を確立 イ ICTの活用により、障害による学習上の課題や困難を改善・克服し、障害のある児童生徒の可能性を拡大 (4) 補正予算の概要 ア 特別支援学校におけるアクティブ・ラーニングの推進：節約による需用費等の減額 イ タブレット端末等を活用した学習環境の整備：節約による需用費等の減額 ウ 病弱教育におけるICTの活用：講師派遣回数減による報償費等の減額						
2 事業主体及び負担区分 国のモデル研究（病弱教育におけるICTの活用）にかかる分（国10/10） その他（県10/10）										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人＝9,500千円										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△824	国庫支出金	△474					△350	4,216	
現計額	5,040		1,800					3,240		